

脳卒中の治療・入院加療に関する臨床研究の参加協力者募集のための診療録の事前閲覧のお願い

研究責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院
リハビリテーション部理学療法科
職名 理学療法士
氏名 井上 靖悟
連絡先電話番号 047-453-9000

実務責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院
リハビリテーション部理学療法科
職名 理学療法科
氏名 井上 靖悟
連絡先電話番号 047-453-9000

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

それにあたり、当院に入院された患者様の診療録等を確認させていただいております。そのうえで、以下の「1. 対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。

ご参加を希望されない場合は、その際に断っていただいて構いません。また患者様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本通知はご参加の前段階の診療録の閲覧の周知を目的としております。事前の閲覧を望まれない患者さんは、その旨を「7. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 診療録の事前閲覧の対象となる方および本研究の対象となる方

2007年3月1日より2019年9月30日までの間に東京湾岸リハビリテーション病院にてリハビリテーション治療のため入院した方を対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。

その中で、本研究では以下の基準に該当する方を対象に参加を募らせていただいております。

2 研究課題名

承認番号 230

研究課題名

回復期リハビリテーション患者における転倒—後方視的コホート研究

3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院 研究責任者 井上靖悟

4 本研究の意義、目的、方法

転倒は、回復期病棟で発生するインシデントのなかでもっとも頻度が高いとされています。同時に、回復期のリハビリテーションを行う対象疾患において、転倒は主要な合併症のひとつであります。従って、転倒・転落は回復期リハビリテーションにおいて深刻な問題であると位置づけられます。しかしながら、回復期リハビリテーション病棟における転倒の実態や転倒に関連する諸因子、アプローチとの関連については、十分な知見がいまだ得られているとは言えません。

本研究の目的は、当院の回復期リハビリテーション病棟における転倒発生について後方視的に解析し、その発生の実態および関連する諸因子を検討することです。本研究によって、転倒の実態と諸因子との関連が明らかになることは、回復期リハビリテーションにおける転倒予防のマネージメントにおいて、非常に有用な知見を提供すると考えられます。

5 本研究に参加された場合に協力をお願いする内容

本研究は、2007年3月1日より2019年9月30日までに当院に入院されました患者様を対象としており、診療録の記録より転倒歴やその発生状況、基本情報として、年齢、性別、身長、体重、発症後期間、病巣、各障害、既往歴、日常生活動作、麻痺の重症度、および実施された各種評価（安静度評価；歩行能力評価・移乗能力評価など）を確認させていただきます。

6 本研究の実施期間

2019年10月3日～2024年9月30日

7 お問い合わせ

本研究に関する質問、および診療録の事前の閲覧を望まれない患者様は、以下の連絡先にご連絡をお願いします。

- ・対応者の氏名： 井上 靖悟（いのうえ せいご）
- ・所属： 東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- ・お問い合わせ方法： お電話、FAX
- ・連絡先： TEL 047-453-9010, FAX 047-453-9002
- ・対応可能な時間帯： 12:00～12:50, 17:00～17:30

*対応者が不在の場合には、お手数ではございますが、改めてのご連絡をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上